

# ミサゴ

*Pandion haliaetus* (Linnaeus)

## タカ目タカ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

準絶滅危惧

### 選定理由

沿岸、河川、湖沼などの水界生態系の頂点に位置するタカで、水質汚染などによる影響を受けやすい。

### 形態

全長約60cm。翼開長約1.6m。雄よりも雌が大きい。トビよりも少し大きいタカで、翼は細長く尾は短い。体の上面は褐色で頭から下面は白く、めだつ黒い過眼線と胸には褐色の斑がある。

### 国内分布

北海道から沖縄まで広く全国に分布し、北九州以北で繁殖している。北日本のものは秋期に南に移動し、暖地で越冬する。

### 県内分布

柴山潟、木場潟、河北潟、邑知潟、七尾西湾などの海岸や湖沼で周年姿が見られ、県下全域の山地で繁殖が確認されている。冬期には冬鳥として渡来するものがあるらしく、個体数が増え、県内の水辺で普通に観察される。

### 生態

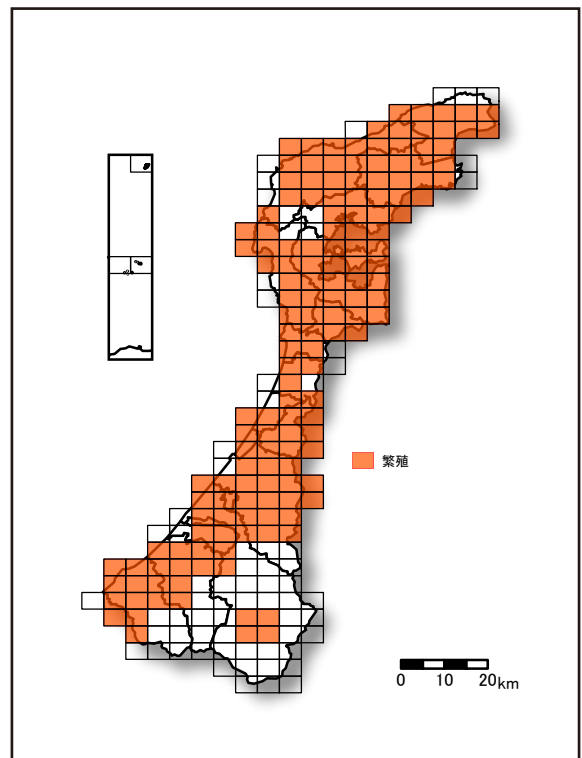
海岸の断崖や海岸に近い尾根上の大木などで営巣するが、県内で確認されているのは主に後者である。産卵は5月頃で、一腹卵数は普通3個、抱卵日数は約35日、孵化後約50日で巣立ちする。空中に停空飛翔してから急降下して水につっこみ、足指の爪で魚を捕らえて餌にする。

### 生息地の条件

餌となる魚類が豊富に生息し、汚染されていない水辺が餌場として存在すること。さらに、餌場から遠くない山地の尾根上に、外敵（特に人間）が近づけない営巣に適した大木があること。

### 生存の危機

かつては農業の影響を強く受けていたと思われるが、現在は山地の森林伐採や、海岸営巣地への釣り人の侵入などの影響が考えられる。(A)



県内の分布